

E28 神戸淡路鳴門自動車道と交差する安坂跨道橋（洲本市管理）耐震補強設計の誤りについて

本州四国連絡高速道路株式会社が管理するE28 神戸淡路鳴門自動車道と交差する洲本市管理の安坂跨道橋（やすさかこどうきょう）の耐震補強工事（2024年2月竣工、弊社が設計及び工事を受託）において設置された水平力分担構造（橋げたと橋脚の間に設置する支承部材）の設計（※）に誤りが発見されました。

本設計の誤りを考慮しても、橋の安全性やお車の走行性は確保されており、高速道路をご利用のお客さまや沿線地域の皆さまの安全・安心に影響するものではありません。

設計の誤りについては、設計・工事の委託者である洲本市と協議のうえ、すみやかに成果物の修補（正しい設計条件での再設計）を行い、必要な対策を行ってまいります。

高速道路をご利用いただくお客さまをはじめ、地域の皆さまや工事受注者さま、関係の皆さまにご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。

（※）今回の耐震補強工事については、大規模な地震が発生した際に橋の損傷が限定的なものに留まり、橋としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保するためのものです。現状でも落橋や倒壊に対する耐震性能は有しており、高速道路をご利用のお客さまや沿線地域の皆さまの安全・安心に影響するものではありません。

1. 経緯

安坂跨道橋の耐震補強設計において、設計解析に使用する桁の重さを算定する際、本来よりも小さい値を用いる取り違えが生じていました。そのため、地震時に発生する力が小さく算出された結果、水平力分担構造が本来よりも小規模な構造となっていました。

新規の別の跨道橋の耐震補強工事の受託にあたって、過年度に設計・工事を受託した当該橋梁の耐震補強の内容を参考にしようと弊社社員が確認した際に、誤りに気づきました。

2. 設計不良箇所

安坂跨道橋の1A橋台、2P橋脚、3A橋台の水平力分担構造（6基）

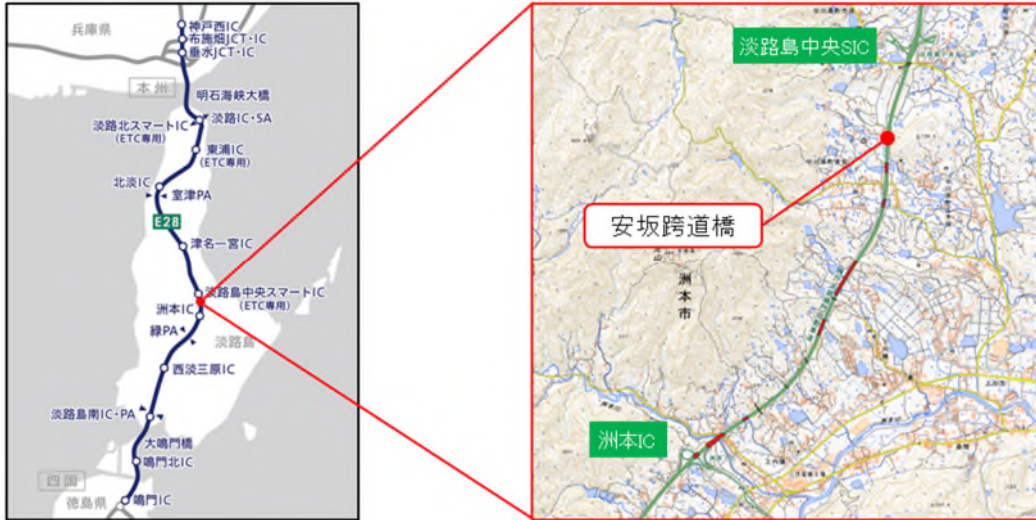
3. 設計業務の概要

件名：安坂跨道橋他耐震補強設計業務

受注者名：（株）建設計画

工期：2020年10月22日から2021年10月18日まで

<位置図>

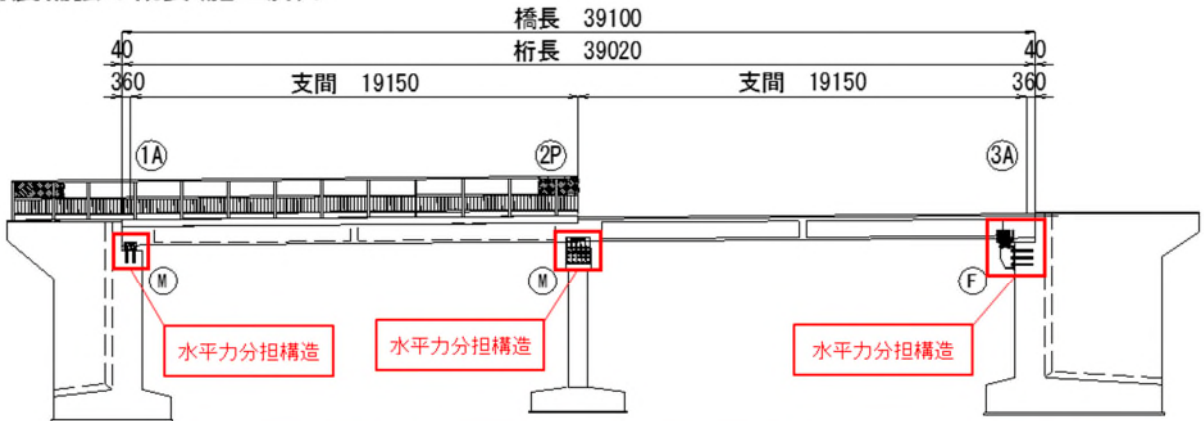


<跨道橋の概要>



跨道橋名：安坂(やすさか)跨道橋
 管理者：洲本市
 橋梁形式：2径間連続RC中空床版橋
 橋長：39.1m
 完成年月：昭和60年6月
 適用基準：S55道示

<耐震補強の概要(施工済)>



1A	2P	3A
水平力分担構造 (対橋軸直角方向)	水平力分担構造 (対橋軸直角方向)	水平力分担構造 (対橋軸+直角方向)